

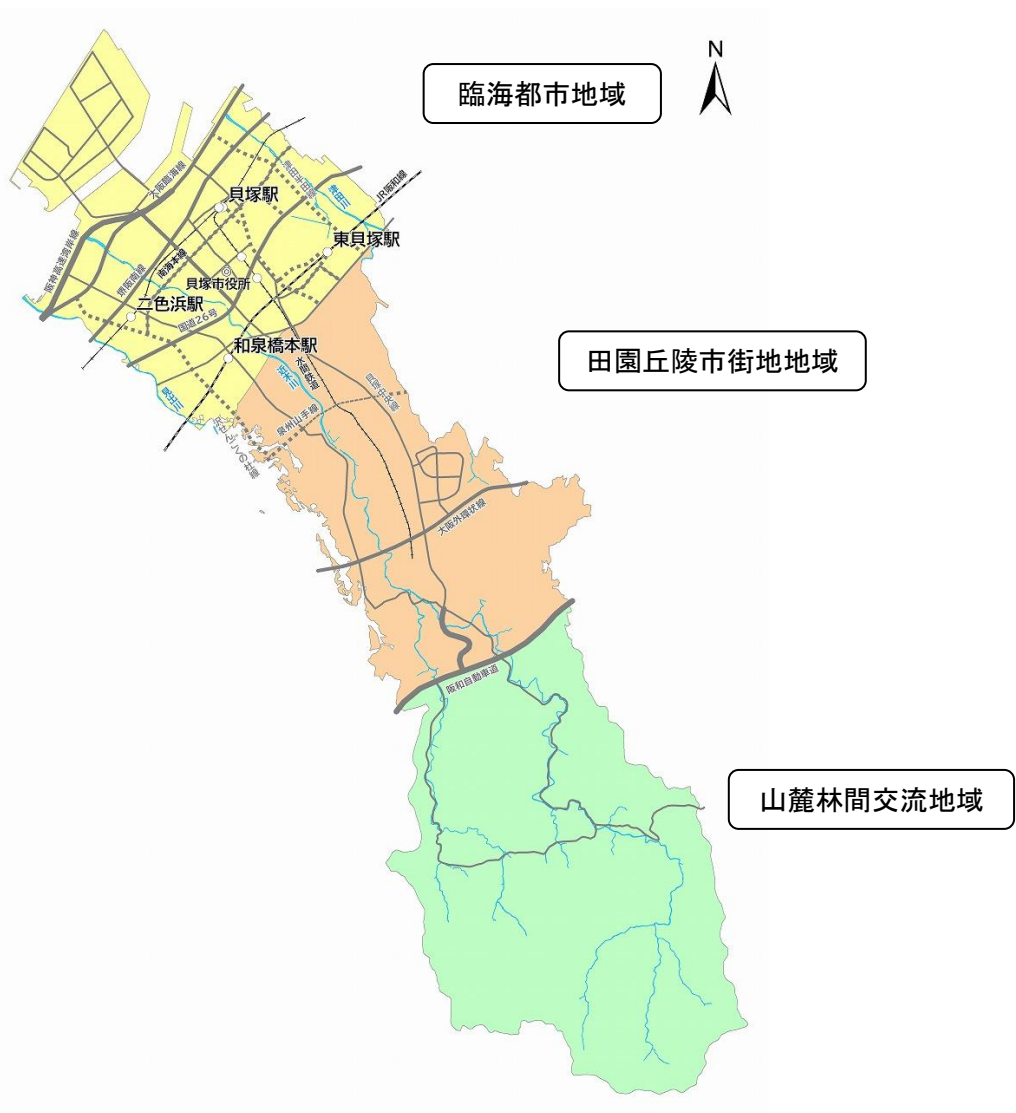
第Ⅲ章 地域別構想

1. 地域区分

地域別構想は全体構想との整合性を図り、地域の特性や実情に応じた市民の身近なまちづくりの方針を明らかにするものです。

地域区分については、地形的な特性やコミュニティの基礎的単位となる小学校区の一定のまとまり等を踏まえつつ、今後の市街地整備や環境保全の方向性等から、判断されるものであり、『将来都市構造』に示すとおり、本市の中心部となる市街地が形成される「臨海都市地域」、市街地と農地・丘陵地が分布する「田園丘陵市街地地域」、和泉葛城山系を中心とする「山麓林間交流地域」の3地域とします。

■地域区分図



2. 地域づくりの方針

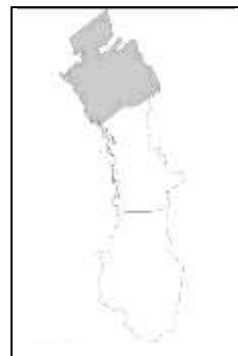
地域づくりの方針については、地域の課題に対応する方針を明らかにするとともに、地域住民と行政の協働による地域づくりの取組みを示すものです。

なお、土地利用に係る方針や各地域共通の方針については全体構想に示すとおりとします。

(1) 臨海都市地域

1) 地域の特徴

- ・ 本地域は、概ね東・北・津田・中央・二色・西・南小学校区が含まれ、南海貝塚駅を中心とした既成市街地と海浜部の市街地で構成されています。
- ・ 道路は府道堺阪南線（旧国道 26 号）、大阪臨海線、国道 26 号などの広域幹線道路が充実しているとともに、鉄道は南海本線、JR 阪和線が通っています。
- ・ 南海貝塚駅は本市の玄関口として都市拠点の役割、南海二色浜駅、JR 東貝塚駅、JR 和泉橋本駅周辺は、地域の生活拠点としての役割を有しています。
- ・ 海水浴場で知られる二色の浜、近木川の河口干潟、寺内町（願泉寺周辺）などの地域固有の自然環境や歴史環境をはじめ、自然遊学館などの公共施設が立地しています。
- ・ 令和 2（2020）年の地域人口は 56,345 人で市域人口の 66.7%を占め、平成 27（2015）年の 58,924 人から 4.4%の人口減少率となっており、一部の地区を除き全体的に減少しています。



二色の浜海水浴場



寺内町（願泉寺周辺）

2) 地域の課題

① 地域資源を活かした賑わいのある都市拠点・生活拠点の形成

南海貝塚駅周辺では、商業機能の低下や人口減少が続いています。また、本地域では、美しい海岸景観を有する二色の浜や寺内町の歴史的街並みなどが位置しています。

市民アンケート調査では、“買い物の利便性”が求められています。

このため、寺内町の歴史的街並み等の地域資源を活用しつつ、賑わいのある都市拠点・生活拠点の形成とあわせて商業機能等の強化等に取り組む必要があります。

② 安全・安心で良好な住環境の形成

南海貝塚駅周辺では、老朽木造住宅等が建て詰まっている密集市街地に相当する区域が存在しています。また、地域内には多くの農地等がみられます。市民アンケートでは、“治安や防犯上の安全性”、“災害に対する安全性”が求められています。

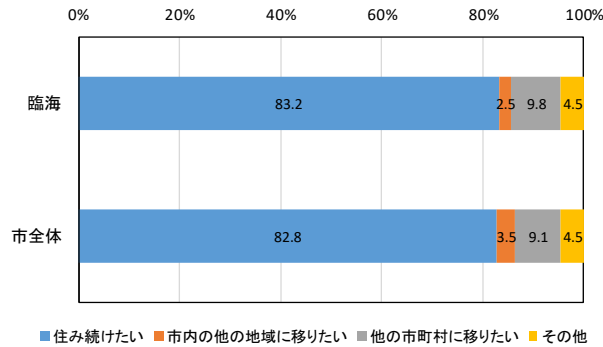
このため、災害に強い安全で安心な市街地の形成とともに、農地やため池などの多面的機能に配慮しつつ、これら自然環境と調和した良好な住環境の形成に取り組む必要があります。

③快適で利便性の高い生活環境の確保

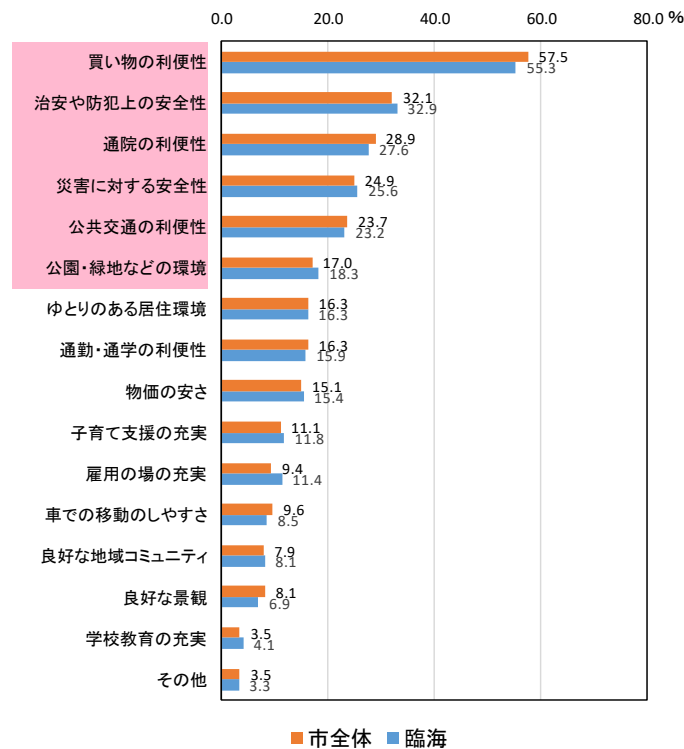
地域人口が減少傾向にあるなかで、JR 東貝塚駅西北側、南海二色浜駅西側、JR 和泉橋本駅東側は、増加傾向にあります。市民アンケートでは、“公園・緑地などの環境”、“公共交通の利便性”、“通院の利便性”が求められています。

まちなかにおける多様な世代の居住を促進していくためには、都市基盤施設などの充実や公共交通の利便性の確保等に取り組む必要があります。

■定住意向について



■定住促進に必要な施策について



資料：令和3年度市民アンケート調査結果

3) 地域の将来像と目標

■地域の将来像

“賑わいのある拠点の形成と安全で快適な地域づくり”

■地域づくりの目標

①歴史的資源を活用し個性と賑わいのある拠点をつくる

- ・鉄道駅周辺の市街地において、商業・業務、福祉機能、居住機能等の集積・強化や移動しやすい交通環境の向上、寺内町における歴史的街並みの保全と活用などにより、個性と賑わいのある都市拠点や生活拠点の形成をめざします。

②安全な市街地環境や快適な地域環境を形成する

- ・密集市街地の改善等とともに、良好な景観の向上、快適な道路環境の確保などにより、安全な市街地環境や快適な地域環境の形成をめざします。

③定住性を高める生活環境を充実する

- ・地域特性である農空間や水環境を活かすとともに、公園、下水道施設等の充実や公共交通の利便性向上などにより、高齢者や障害者などにやさしい、定住性を高める生活環境の充実をめざします。

4) 地域のまちづくり方針

①歴史的資源を活用し個性と賑わいのある拠点をつくる

区 分	方針の内容
ア.鉄道駅周辺市街地の活性化	
南海貝塚駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・都市拠点として、土地の有効利用等により、商業・業務機能などの都市機能と居住機能の集積を促進するとともに、寺内町等の地域特性を活かした個性と賑わいのある市街地の形成に努めます。 ・南海貝塚駅東側については、管理不全の空き家の解消を進めるとともに、居心地がよく市民が憩える空間となるよう、既存都市計画の見直しを行い、道路や駅前広場、公園等の都市基盤施設や交流空間の整備を推進します。 ・多くの人が集い・交流する空間でもある鉄道駅周辺等の商業地においては、ゆとりある歩行空間の確保など快適で賑わいのある景観の形成に努めます。 ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づき、通行に配慮した交通環境づくりを進めるため、引き続き段差の少ない歩道の設置などに努めます。
その他鉄道駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点として、生活利便機能や福祉サービス機能、居住機能等の向上及び交通結節機能の充実に努めます。
南海二色浜駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点における利用者の安全性、利便性の向上を図るため、南海二色浜駅については、東側の新たな改札口設置に併せて西側に駅前広場を整備します。 ・二色の浜公園への快適な歩行空間を確保するため、（主）和歌山貝塚線の整備を促進します。

区分		方針の内容
	J R 東貝塚駅 周辺	・JR 東貝塚駅西側については、駅舎のバリアフリー化に伴い、新たに整備される改札口に併せて、駅前広場やアクセス道路の整備を実施し、高齢者や障害者を含むすべての人の移動の安全性、快適性の向上に取り組みます。
	J R 和泉橋本 駅周辺	・JR 和泉橋本駅では、東側駅前広場の整備や西側改札口の設置を検討します。 ・JR 和泉橋本駅東側においては、駅周辺の利便性の高い立地条件を活かし、土地区画整理事業により、生活利便施設や産業施設等の立地誘導を図るため、市街化調整区域から市街化区域への編入を検討します。

イ.行政機能の更なる充実

利用しやすい 環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎を中心に行政機関が集積するシビックコアの形成と市民の利便性の向上を図るため、貝塚警察署や大阪府岸和田子ども家庭センターの移転を計画的に進めるとともに、新庁舎における行政手続きの円滑化を推進します。また、利用環境の向上を図るため、引き続き、公共交通との連携の強化に努めます。
景観の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設が集積する市役所周辺においては、良好な景観の維持・向上を図るため、街路樹や敷地内の緑の適切な管理に努めます。 ・旧庁舎跡に整備する「緑の市民広場」については、市民の憩いとふれあいの屋外交流空間として、芝生広場を整備し、各所に語らいスポットやベンチ等を配置し、多彩なイベント等への利活用を検討します。 ・公共建築物をはじめ、道路や街路樹などの整備にあたっては、緑化の推進や周辺と調和した景観の形成に努めます。

ウ.寺内町における歴史的街並みの保全と活用

歴史的街並みの 保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の資源を活用し、個性のある都市づくりを推進するため、公民連携により、紀州街道と一体となった寺内町の歴史的街並みの保全・活用に努めます。
歴史的景観の 形成	<ul style="list-style-type: none"> ・寺内町については、文化財や町割の保存、道筋・地形等を活かした歴史的街並みの保全や飲食店、宿泊施設等としての活用を図るなど、地域住民との協働による取組みを進めます。 ・文化財の保存・活用を計画的に進めるため、「貝塚市文化財保存活用地域計画」の策定と併せて、紀州街道の歴史的な建物等が残る街並みについて、周辺の歴史文化遺産と調和した景観づくりに取り組みます。



願泉寺表門(重要文化財)



願泉寺本堂(重要文化財)

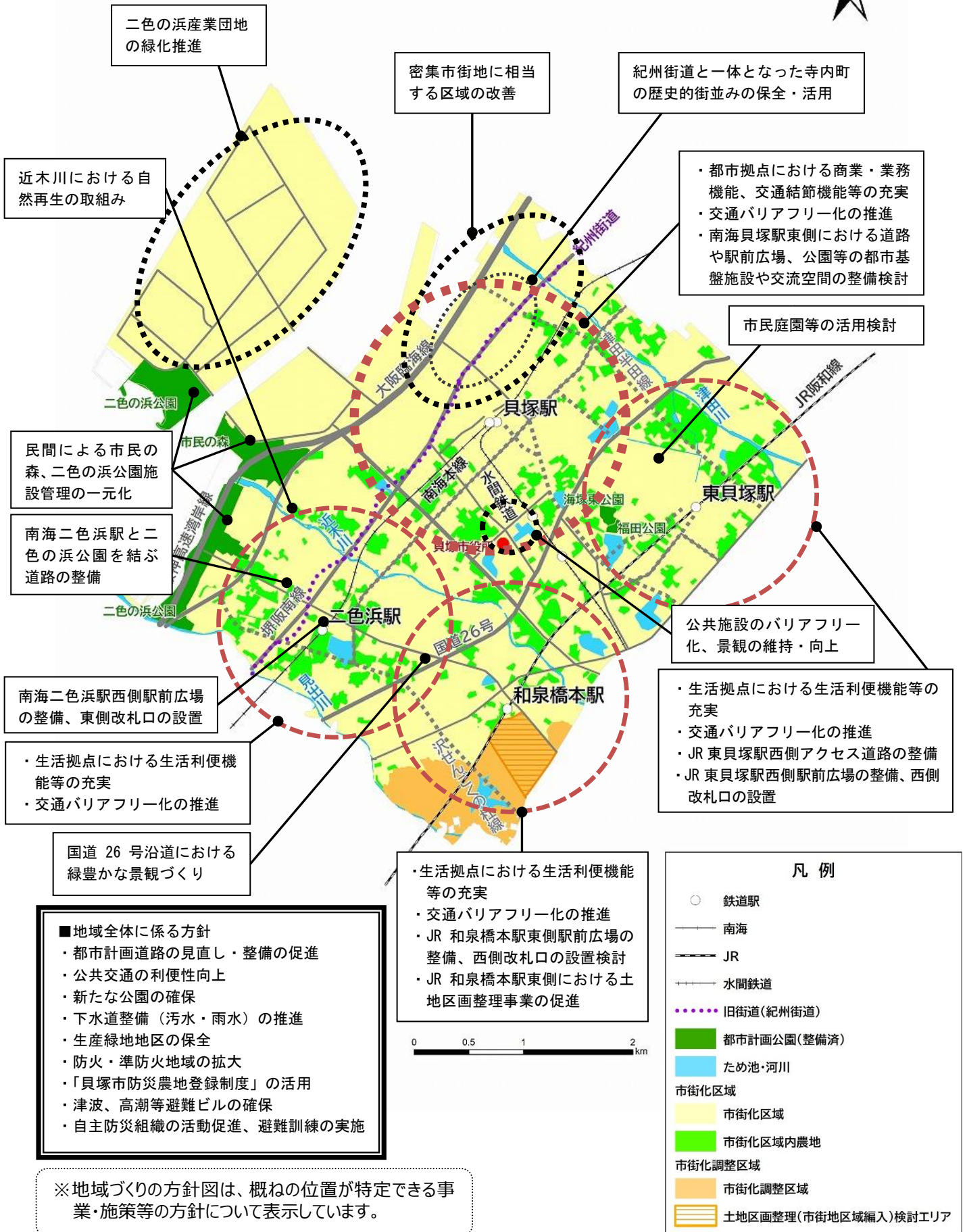
②安全な市街地環境や快適な地域環境を形成する

区 分	方針の内容
ア.安全な市街地の形成	
<p>密集市街地の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寺内町周辺の密集市街地に相当する区域については、紀州街道と一体となった歴史的街並みの保全や文化的資産等の保護に留意するとともに、耐火建築物への建替えの適切な誘導など防火機能の改善に努めます。
<p>防災対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波対策のため、防潮堤の見直しや耐震対策、水門の点検及び適正な維持管理を促進します。 ・市街地における火災の延焼防止とその遅延を図るため、主要鉄道駅周辺で火災延焼の危険性が高い区域や、一時避難場所となる小学校、中学校等の公共施設周辺区域について、優先的に防火・準防火地域の指定拡大に取り組みます。 ・「貝塚市防災農地登録制度」の活用を促進し、災害時における市民等の避難場所や復旧活動のための用地の確保に努めます。 ・津波や高潮災害に対応するため避難ビル等の確保に努めます。 ・液状化に対する意識の向上や被害の軽減を図るため、大阪府が公表する「震度分布・液状化可能性」等の情報提供に努めます。
<p>地域防災意識の啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における迅速な対応を図るため、地域における自主防災組織の活動を促進するとともに、防災訓練の実施、救急講習の開催等により、防災知識の啓発に努めます。
イ. 快適な地域環境の形成	
<p>道路交通ネットワーク等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路については、ネットワーク機能や市街地形成機能、都市防災機能等を考慮した「必要性」や「実現性」など、総合的な検証を行った上で、引き続き見直しを進めます。 ・都市計画道路の見直しを踏まえ、整備を促進します。 ・JR 和泉橋本駅東側の土地区画整理事業とともに、地区内への都市機能の立地誘導を図るため、（都）泉州山手線と（主）大阪和泉南線を繋ぐ府道の整備を促進します。 ・歩行者や自転車等の安全な通行を確保するため、身近な生活道路の改善に努めます。
<p>沿道景観の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 26 号沿道においては、市役所周辺の良い景観との調和や近木川、津田川等の緑の軸と連携した緑豊かな景観づくりを促進します。
<p>良好な工業地景観の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業拠点である臨海部の二色の浜産業団地をはじめ、内陸部の工業地などにおいては、緩衝緑地等の確保とともに、緑化による修景化を促進します。

③定住性を高める生活環境を充実する

区 分	方針の内容
ア.農空間や水環境の保全と活用	
緑豊かな農空間の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全とともに、農地やため池、水路等が一体となった緑豊かな農空間の活用に努めます。
河川環境及び海岸の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境軸である近木川においては、地域との協働による取組みを一層促進し、生態系の保全や環境教育の場として河口干潟（汽水ワンド）の自然再生等を進めます。 ・湾岸に映える魅力的な住宅地景観の形成とともに、二色の浜公園の自然環境と一体となった景観の保全を促進します。
イ.公園、下水道等の充実	
都市公園の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の森については、賑わいの創出や行政コストの縮減を図るため、二色の浜公園（府管理）とともに、民間による施設管理の一元化を推進します。 ・歴史展示館及び隣接する市民庭園については、地域の賑わいを創出し、滞在快適性等の向上を図るため、官学等によるワークショップを通じ、公民連携による施設の更なる有効活用を検討します。 ・市街地における緑とやすらぎ空間を拡充するため、今後、廃止・縮小が検討されるため池等を活用するなど新たな都市公園の確保に努めます。 ・公園等を誰もが安全で快適に利用できるよう、休憩スペースの設置や段差の解消・点字案内板等の設置とともに、園路灯など防犯に配慮した公園施設の整備に努めます。
水質の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域の水質浄化をめざし、下水道整備（污水）の推進や合併処理浄化槽の普及を促進するとともに、事業所等の立入検査により、水質の監視に努めます。 ・污水については、供用開始区域における水洗化を促進するため、広報紙やホームページなどにより下水道接続の必要性の周知・啓発に努めます。
都市型水害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路の溢水による浸水を解消するため、既存水路の改修など雨水排水施設の整備に取り組みます。 ・臨海部等における低地浸水を防止するため、雨水ポンプ場の整備や「貝塚市下水道ストックマネジメント計画」に基づく雨水ポンプの設備・機能更新、既存施設の適切な点検・維持管理等を行うとともに、停電時に必要な非常用発電機の整備を推進します。
ウ.公共交通の利用促進	
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者や高齢者等にとって利用しやすい鉄道駅舎となるよう、更なるバリアフリー化や利便性の向上を促進します。 ・バス路線等については、地域鉄道の二次交通として、「地域公共交通計画」に基づき、より効果的な交通手段となるよう見直しを行います。 ・安全で快適なバスの待合空間を提供するため、利用者の多いバス停を優先して、沿道施設と連携する等、設備の充実に努めます。 ・鉄道駅や主要公共施設などの乗換箇所においては、わかりやすい運行ルート図、時刻表、運賃表等の情報提供に努めます。

■地域づくりの方針図



二色の浜産業団地の緑化推進

密集市街地に相当する区域の改善

紀州街道と一体となった寺内町の歴史的街並みの保全・活用

近木川における自然再生の取組み

- ・都市拠点における商業・業務機能、交通結節機能等の充実
- ・交通バリアフリー化の推進
- ・南海貝塚駅東側における道路や駅前広場、公園等の都市基盤施設や交流空間の整備検討

市民庭園等の活用検討

民間による市民の森、二色の浜公園施設管理の一元化

南海二色浜駅と二色の浜公園を結ぶ道路の整備

公共施設のバリアフリー化、景観の維持・向上

南海二色浜駅西側駅前広場の整備、東側改札口の設置

- ・生活拠点における生活利便機能等の充実
- ・交通バリアフリー化の推進

- ・生活拠点における生活利便機能等の充実
- ・交通バリアフリー化の推進
- ・JR 東貝塚駅西側アクセス道路の整備
- ・JR 東貝塚駅西側駅前広場の整備、西側改札口の設置

国道 26 号沿道における緑豊かな景観づくり

- ・生活拠点における生活利便機能等の充実
- ・交通バリアフリー化の推進
- ・JR 和泉橋本駅東側駅前広場の整備、西側改札口の設置検討
- ・JR 和泉橋本駅東側における土地区画整理事業の促進

■地域全体に係る方針

- ・都市計画道路の見直し・整備の促進
- ・公共交通の利便性向上
- ・新たな公園の確保
- ・下水道整備（汚水・雨水）の推進
- ・生産緑地地区の保全
- ・防火・準防火地域の拡大
- ・「貝塚市防災農地登録制度」の活用
- ・津波、高潮等避難ビルの確保
- ・自主防災組織の活動促進、避難訓練の実施



凡例

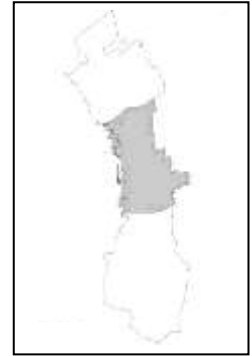
- 鉄道駅
- 南海
- JR
- 水間鉄道
- 旧街道(紀州街道)
- 都市計画公園(整備済)
- ため池・河川
- 市街化区域
- 市街化区域
- 市街化区域内農地
- 市街化調整区域
- 市街化調整区域
- 土地区画整理(市街地区域編入)検討エリア

※地域づくりの方針図は、概ねの位置が特定できる事業・施策等の方針について表示しています。

(2) 田園丘陵市街地地域

1) 地域の特徴

- ・ 本地域は、概ね木島・永寿・東山・葛城小学校区が含まれ、水間鉄道沿線市街地とこれを挟む田園丘陵地、及び新市街地が形成される東山地区で構成されています。
- ・ 幹線道路は貝塚中央線が区内を縦断し、大阪外環状線が東山地区周辺で貝塚中央線と結節するとともに、阪和自動車道貝塚ICが位置するなど広域交通基盤が充実しています。
- ・ 水鉄水間観音駅及び東山地区周辺では商業地が形成されています。
- ・ 市街地周辺では農地や丘陵地が広がり、木積農の里、せんごくの杜、水間寺、孝恩寺など、地域固有の自然環境や歴史環境を有しているとともに、善兵衛ランドなどの公共施設が立地しています。



令和 2 (2020) 年の地域人口は 27,834 人で市域人口の 33.0%を占め、平成 27 (2015) 年の 29,445 人から 5.5%の人口減少率となっています。地域人口は減少していますが、東山地区は増加傾向にあります。



農空間の保全と活用
(木積農の里を拠点とした交流型農業や観光農業の促進)



孝恩寺釘無堂(国宝)

2) 地域の課題

①交通の利便性の確保

本地域の道路は貝塚中央線、公共交通は水間鉄道が基軸となっています。市民アンケート調査では、“通院の利便性”、“公共交通の利便性”、“通勤・通学の利便性”が求められています。

このため、水間鉄道とバスなど日常生活に密着した交通の利便性の確保に取り組む必要があります。

②安全で快適な生活環境の向上

本地区では、環境軸である近木川をはじめ、農地、ため池、せんごくの杜周辺など良好な自然環境を有しています。

市民アンケート調査では、“治安や防犯上の安全性”、“災害に対する安全性”等が求められています。

このため、近木川や農地、ため池をはじめ、せんごくの杜周辺などの地域資源を有効に活用し、安全で快適な生活環境の確保に取り組む必要があります。

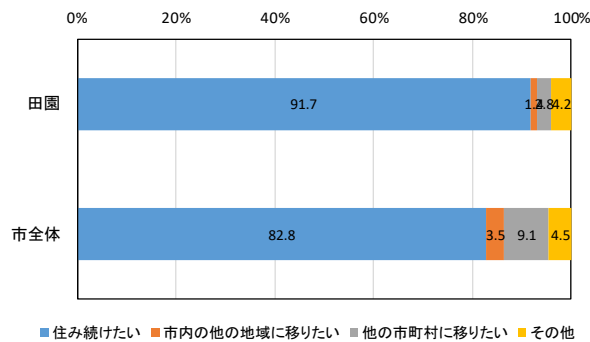
③生活拠点の充実や沿道機能を活かした産業の振興

本地域では水間観音駅や東山地区周辺が商業地に位置づけられているとともに、大阪外環状線と貝塚中央線が結節する有利な交通条件を有しています。

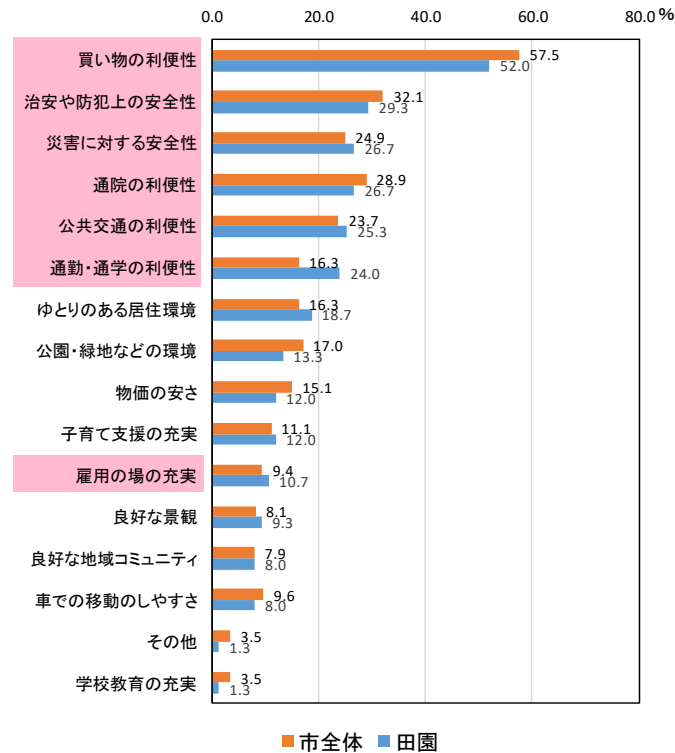
市民アンケート調査では、“買い物の利便性”や“雇用の場の充実”が求められています。

このため、生活サービス施設等の充実や産業の活性化を促進するため、幹線道路の沿道機能を活かした産業の振興に取り組む必要があります。

■定住意向について



■定住促進に必要な施策について



資料：令和3年度市民アンケート調査結果

3) 地域の将来像と目標

■地域の将来像

“水辺や農空間と調和した安全で暮らしやすい地域づくり”

■地域づくりの目標

①移動しやすい交通環境を形成する

- ・都市計画道路の整備促進や安全な生活道路を確保するとともに、公共交通の中心である水間鉄道の利便性の向上により、移動しやすい交通環境の形成をめざします。

②生活基盤施設の充実や地域資源を活用し定住性の高い住環境を形成する

- ・公園や下水道など生活基盤施設の充実に努めるとともに、農地や水辺の活用、せんごくの杜周辺における公共性の高い土地活用を検討するなど、地域資源を活用し、安全で定住性の高い住環境の形成をめざします。

③利便性の高い拠点や秩序ある市街地環境を形成する

- ・水鉄水間観音駅周辺における都市機能や居住機能の充実、幹線道路沿道における計画的な土地利用の誘導など、利便性の高い拠点の充実や秩序ある市街地環境の形成をめざします。

4) 地域のまちづくり方針

①移動しやすい交通環境を形成する

区 分	方針の内容
ア.道路環境の向上	
道路交通ネットワーク等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の見直しを踏まえて整備を促進します。 ・地域活性化や災害時の対策に資する（都）泉州山手線の整備を引き続き促進します。
イ.公共交通の利用促進	
水間鉄道の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・水間鉄道の利用を促進するため、生活サービス施設等の立地誘導や、レクリエーション施設等と連携し沿線地域の活性化に努めます。 ・水間鉄道については、自転車と鉄道がともに利用しやすい環境整備を促進するとともに、水鉄名越駅において駐輪場等の整備を推進します。 ・乗継ぎの利便性を高めるため、水間鉄道とその他交通手段との連携強化を促進します。 ・水鉄水間観音駅については、障害者や高齢者等にとって利用しやすい鉄道駅舎となるよう、鉄道事業者に対し協力を要請し、バリアフリー化を促進します。
乗継ぎ環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部と市内中心部間の移動は、水鉄水間観音駅を交通結節点とし、水間鉄道との乗継ぎを基本とします。また、乗継ぎの利便性を高めるため、水間鉄道とその他交通手段との連携強化を促進します。 ・バス路線等については、地域鉄道の二次交通として、「地域公共交通計画」に基づき、より効果的な交通手段となるよう見直しを行います。 ・水鉄水間観音駅などの乗換箇所においては、わかりやすい運行ルート図、時刻表、運賃表等の情報提供に努めます。

②生活基盤施設の充実や地域資源を活用し定住性の高い住環境を形成する

区 分	方針の内容
ア.公園、下水道・河川の充実	
都市公園の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・水間寺に隣接し豊かな緑に囲まれた水間公園については、防災機能を強化するとともに、更なる公園の魅力向上を図るため、施設の充実や民間活力の導入について検討します。 ・交流拠点であるせんごくの杜周辺では、里山保全エリアとして、歴史遺産でもある周辺の散策路等の整備を図り、自然環境や歴史的資源を活用した市民のふれあいの場の確保に努めます。
水質の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域の水質浄化をめざし、下水道整備（汚水）の推進や合併処理浄化槽の普及を促進するとともに、事業所等の立入検査により、水質の監視に努めます。
雨水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路の溢水による浸水を解消するため、既存水路の改修など雨水排水施設の整備に取り組みます。
河川環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・近木川については、地域との協働による取組みを一層促進し、自然再生の整備等を進めるとともに、稲谷川では、アドプト・プログラムの取組みと併せて親水性に配慮した川づくりの取組みを促進します。
イ.農地・ため池の保全と活用	
農空間の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域計画（人・農地プラン）」に基づき、遊休農地の解消等に努めるとともに、6次産業化等農業経営の安定化により、農空間の保全と活用を図ります。 ・良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全とともに、農地やため池、水路等が一体となった緑豊かな農空間の活用に努めます。 ・農業の活性化を図るため、木積農の里を拠点とした交流型農業や観光農業を促進します。 ・農地の保全と活用を図るため、「大阪府農空間保全地域制度」を活用し、農業者等との協働により、遊休農地の解消などに取り組みます。
農村・田園景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携により遊休農地を活用した景観作物（コスモス、ひまわり等）の栽培や、棚田等の保全に努め、山間部の自然と調和した美しい農村景観づくりに取り組みます。 ・都市近郊の貴重な緑空間を確保するため、農地とため池が周辺の丘陵地の緑と一体となった田園丘陵地景観の保全に努めます。
ウ.せんごくの杜の活用	
地域資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・せんごくの杜の里山保全エリアについては、「貝塚市文化財保存活用地域計画」に基づき、自然環境の保全や歴史資源の保護と併せて、地域資源の有効活用や賑わいの創出を検討します。
防災・交流機能の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・せんごくの杜の防災・交流エリアは、防災機能を備えた広場と平時にはドローン・クリケットフィールド等としての活用など、スポーツ交流や国際交流の進展、賑わいのある交流空間の創出に努めます。

③利便性の高い拠点や秩序ある市街地環境を形成する

区 分	方針の内容
ア.利便性の高い魅力ある拠点の形成	
生活拠点の充実	・水鉄水間観音駅周辺等の市街地については、日常の生活利便機能、福祉サービス機能や居住機能等の向上及び交通結節機能の充実に努めます。
賑わいの創出	・水間観音駅、水間寺、水間公園は公民連携により、3施設を一体とした新たな賑わいを創出することにより交流人口の増加をめざします。
イ.秩序ある市街地環境の形成	
魅力ある地域景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪外環状線より山側の区域については、和泉葛城山系の眺望に配慮した緑化を促進するとともに、背景となる山並みとの調和に配慮した景観づくりに努めます。 ・公民連携により、水間寺周辺などの歴史的景観の保全と活用に努めます。 ・大阪外環状線や（都）泉州山手線沿道においては、緑豊かな景観づくりを促進します。
幹線道路沿道における計画的な土地利用	・主要な幹線道路沿道等において、産業系用途などの確保が必要な場合は、開発許可や地区計画制度の活用により、適正な立地誘導に努めます。



せんごくの杜 里山保全エリア(千石堀城跡)



せんごくの杜 里山保全エリア(展望台からの風景)



水鉄水間観音駅

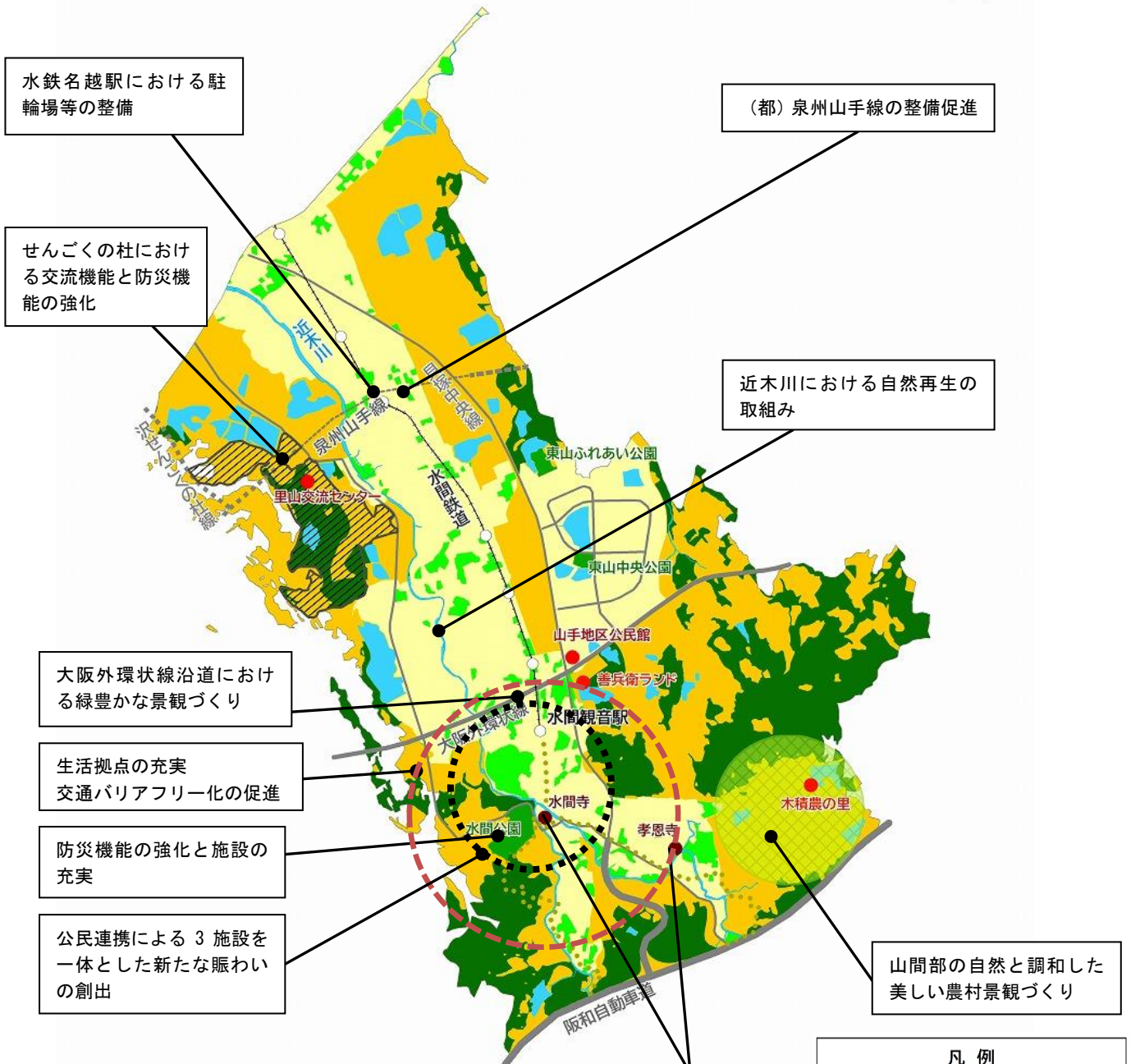


水間寺



水間公園

■地域づくりの方針図



水鉄名越駅における駐輪場等の整備

(都) 泉州山手線の整備促進

せんごくの杜における交流機能と防災機能の強化

近木川における自然再生の取組み

大阪外環状線沿道における緑豊かな景観づくり

生活拠点の充実
交通バリアフリー化の促進

防災機能の強化と施設の充実

公民連携による3施設を一体とした新たな賑わいの創出

山間部の自然と調和した美しい農村景観づくり

歴史的景観の保全

- 地域全体に係る方針
- ・都市計画道路の整備促進
 - ・水鉄水間観音駅を結節点とする交通環境の充実
 - ・幹線道路沿道における計画的な土地利用
 - ・下水道整備（污水・雨水）の推進
 - ・大阪外環状線沿道から山側における和泉葛城山の山並みと調和した景観づくり
 - ・遊休農地の解消

凡例

- 鉄道駅
- 水間鉄道
- 農のウォーキングロード
- 都市計画公園(整備済)
- ため池・河川
- 市街化区域内農地
- 市街化区域
- 市街化調整区域
- 自然保全・活用エリア
- 集落・農業エリア
- 農村景観区域
- 土地活用検討エリア(せんごくの杜周辺)

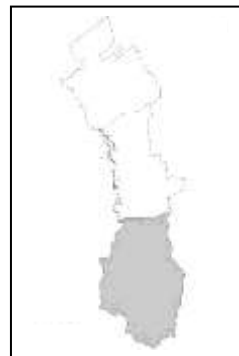


※地域づくりの方針図は、概ねの位置が特定できる事業・施策等の方針について表示しています。

(3) 山麓林間交流地域

1) 地域の特徴

- ・ 本地域は葛城小学校区の一部が含まれ、和泉葛城山系を中心として、谷合の集落や農地で構成されています。
- ・ 阪和自動車道貝塚 IC が位置し、主要地方道岸和田牛滝山貝塚線、市道馬場新蕎原大橋線が地域の主要な道路となっています。
- ・ 地区のほぼ全域が近郊緑地保全区域に指定されており、国指定の天然記念物である和泉葛城山ブナ林がみられるとともに、自然とのふれあいの場である大阪府立少年自然の家、かいづか いぶき温泉、大阪府立農業公園（かいづか いぶきヴィレッジ）やハイキングコースなどがあり、緑豊かな自然環境を有しています。
- ・ 令和 2（2020）年の地域人口は 264 人で市域人口の 0.3%を占め、平成 27（2015）年の 325 人から 18.8%の人口減少率となっており、全体的に減少しています。



2) 地域の課題

①安全で便利な生活環境の確保

地域人口は減少傾向にあり、市民アンケート調査では、“買物の利便性”、“通院の利便性”、“公共交通の利便性”、“治安や防犯上の安全性”、“災害に対する安全性”が求められています。

このため、都市拠点や生活拠点周辺とネットワークする公共交通や、安全・安心な地域環境の確保に取り組む必要があります。

②自然環境や景観の保全

緑豊かな和泉葛城山系にはブナ林（国指定天然記念物）がみられ、金剛生駒紀泉国定公園、近郊緑地保全区域に指定されています。

このため、都市近郊の貴重な緑を保全するとともに、緑豊かな自然環境と調和した地域景観の形成に取り組む必要があります。

③地域資源の活用

良好な自然環境のなかで、自然とのふれあいの場である「大阪府立少年自然の家」等が立地し、ハイキングコース等の整備が進んでいます。

これら観光・レクリエーション施設等を活用し、観光交流による地域活性化に取り組む必要があります。



大阪府立少年自然の家



かいづか いぶき温泉

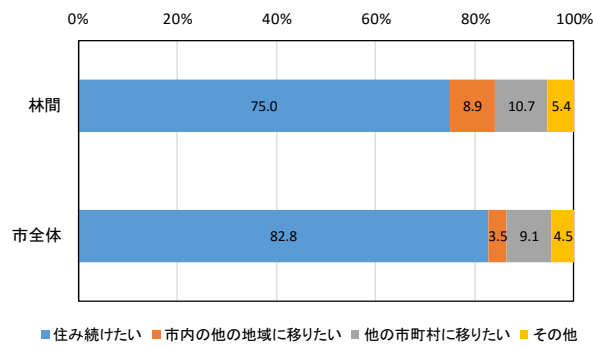


和泉葛城山登山道

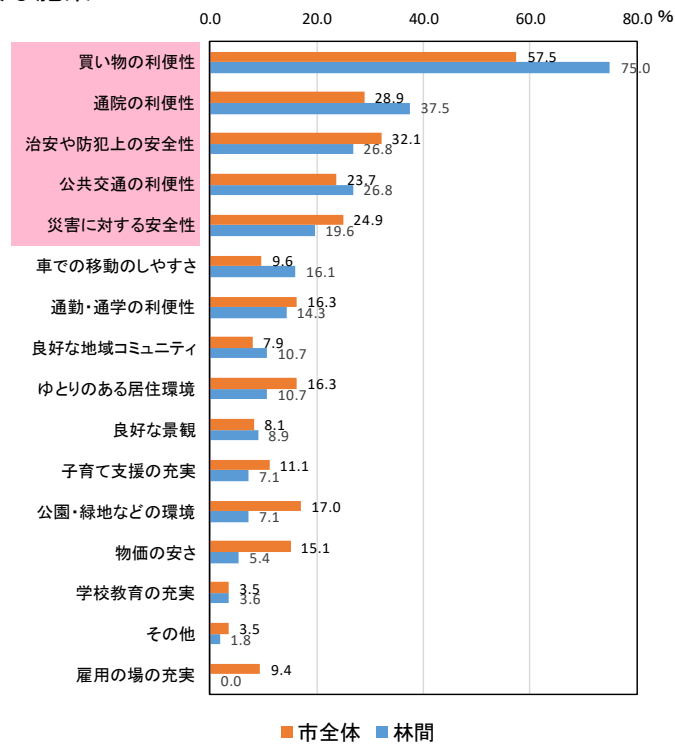


大阪府立農業公園(かいづか いぶきヴィレッジ)

■定住意向について



■定住促進に必要な施策について



資料：令和3年度市民アンケート調査結果

3) 地域の将来像と目標

■地域の将来像

“緑豊かな自然環境を活かした交流盛んな地域づくり”

■地域づくりの目標

①定住環境の形成を図る

・交通弱者などあらゆる人々が移動しやすい交通環境の向上とともに、農林業等の生産環境や河川環境の向上、山地災害の防止など、安全で快適な定住環境の形成をめざします。

②都市近郊の豊かな自然環境を保全する

・和泉葛城山系の豊かな自然環境を保全するとともに、これら自然環境と調和した地域景観の形成をめざします。

③地域資源を保全・活用しふれあいの交流環境を形成する

・観光・レクリエーション施設の利用を促進するとともに、“農のウォーキングロード”等の活用により、幅広い交流を促進し、地域の活性化をめざします。

4) 地域のまちづくり方針

①定住環境の形成を図る

区 分	方針の内容
ア.交通環境の向上	
公共交通の 利便性の向上	・山間部と市内中心部間の移動は、水鉄水間観音駅を交通結節点とし、水間鉄道との乗継ぎを基本とします。また、乗継ぎの利便性を高めるため、水間鉄道とその他交通手段との連携強化を促進します。
イ.生産環境の維持と河川環境の向上	
農空間の 保全・活用	・農地やため池、水路等が一体となった緑豊かな農空間の保全・活用に努めます。
河川環境の向上	・近木川や稚谷川においては、アドプト・プログラムの取組みとともに、稚谷川においては、生物多様性に配慮した自然豊かな川づくりの取組みを引き続き促進します。
ウ.安全な地域づくり	
災害復旧体制 の充実	・山間部の地滑りや道路寸断などに対する負傷者救護・生活物資供給マニュアルなどを作成するとともに、必要に応じて見直しを行います。
災害対策 の充実	・避難所など災害発生時の影響が大きい箇所について、土砂災害防止施設の整備等対策を促進します。

②都市近郊の豊かな自然環境を保全する

区 分	方針の内容
ア.自然環境の保全	
環境教育等の 促進	・自然とのふれあい施設である大阪府立少年自然の家、大阪府立農業公園（かいづかいびきヴィレッジ）等を拠点に環境教育の取組みを促進します。

区 分	方針の内容
協働による適切な管理	・和泉葛城山ブナ林（国指定天然記念物）の保全や森林を市民共通の財産として次代に継承していくため、「貝塚市森林整備計画」に基づき、多様な主体の参加、協働による間伐・下草刈りや和泉葛城山登山道の環境整備等、森づくりを推進します。
イ.自然景観の保全と創出	
豊かな緑と調和した景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉葛城山系の自然環境については、金剛生駒紀泉国定公園や近郊緑地保全区域などの規制・誘導等により、景観の保全に努めます。 ・和泉葛城山に立地する建築物等については、良好な自然景観と調和した形態・意匠・素材などの誘導に努めます。 ・公民連携により棚田等の保全に努め、山間部の自然と調和した美しい農村景観づくりに取り組みます。

③地域資源を保全・活用しふれあいの交流環境を形成する

区 分	方針の内容
ア.観光農業の促進	
農業の活性化	・大阪府立農業公園（かいづか いぶきヴィレッジ）を拠点とした交流型農業や観光農業を促進します。
イ. 地域資源のネットワーク	
幅広い交流の促進	・市民が気軽に自然や農空間とのふれあいを楽しむことができるよう、大阪府立少年自然の家、大阪府立農業公園（かいづか いぶきヴィレッジ）、かいづか いぶき温泉などの施設をつなぐ“農のウォーキングロード”の活用等により、幅広い交流を促進します。
地域振興の推進	・交流や市民の健康志向による地域振興を推進するため、社会教育施設をはじめ、観光・交流レクリエーション施設等をネットワーク化する観光コース(貝塚市周遊ガイドブック)やサイクリングコースの効果的な情報発信に努めるとともに、周遊コースを活用したイベントの開催等を検討します。

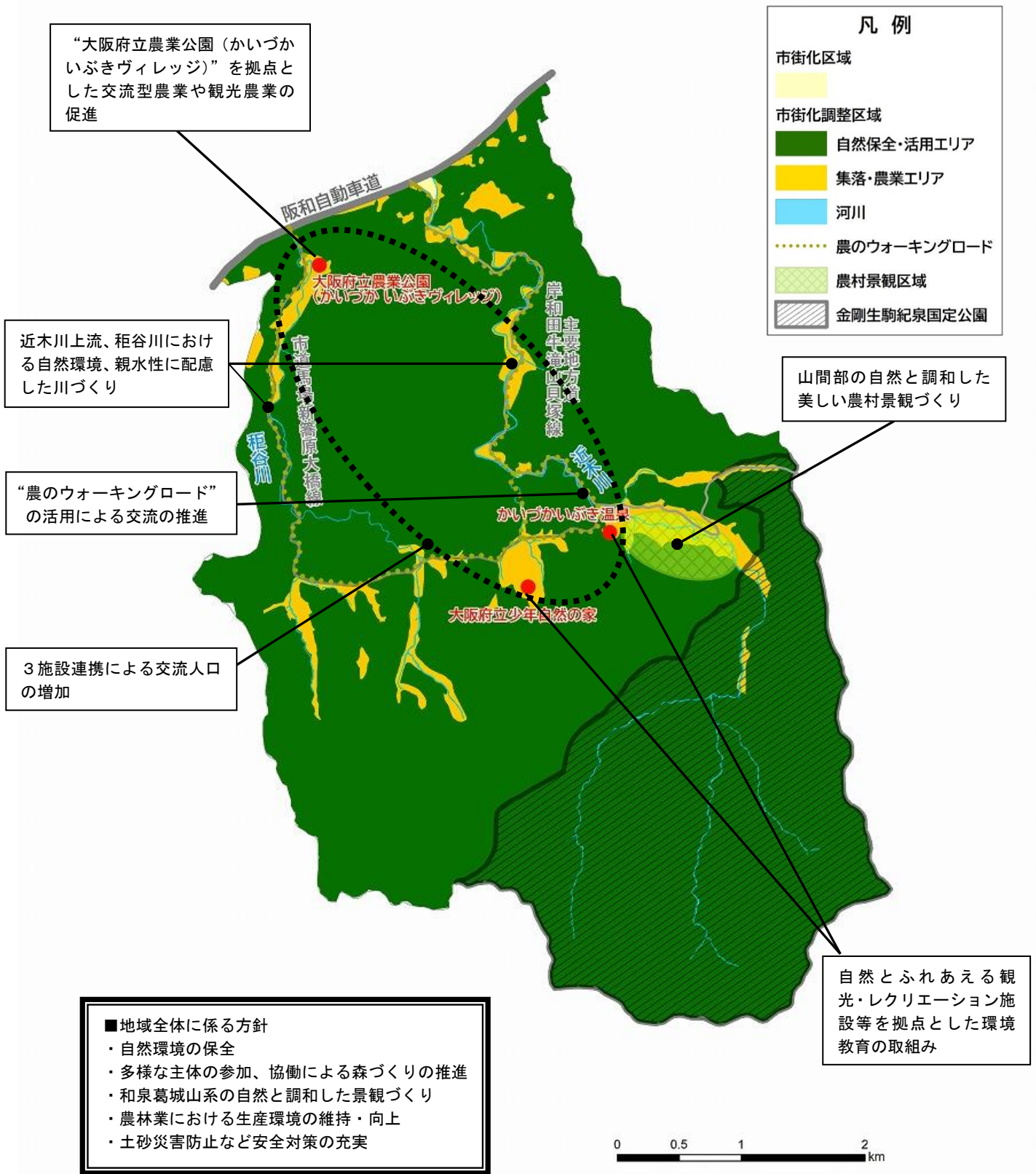


ブナ林(国指定天然記念物)



和泉葛城山を源流とする栴谷川

■地域づくりの方針図



“大阪府立農業公園（かいづかいぶきヴィレッジ）”を拠点とした交流型農業や観光農業の促進

近木川上流、稲谷川における自然環境、親水性に配慮した川づくり

“農のウォーキングロード”の活用による交流の推進

3施設連携による交流人口の増加

山間部の自然と調和した美しい農村景観づくり

自然とふれあえる観光・レクリエーション施設等を拠点とした環境教育の取組み

- 地域全体に係る方針
- ・ 自然環境の保全
 - ・ 多様な主体の参加、協働による森づくりの推進
 - ・ 和泉葛城山系の自然と調和した景観づくり
 - ・ 農林業における生産環境の維持・向上
 - ・ 土砂災害防止など安全対策の充実

※地域づくりの方針図は、概ねの位置が特定できる事業・施策等の方針について表示しています。